

全国協議会 ニュース

発行所
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク
推進連絡協議会
〒160-0005 東京都
新宿区愛住町23-1
Woody21-9階
TEL.(03)3356-8217
FAX.(03)3356-8637
発行責任者:笠原 慶一
http://www.marow.or.jp/
E-mail:office@marow.or.jp

郵便振替口座
00150-4-15754
銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655

財団への補助金が 大幅アップ

平成15年度概算要求

厚生労働省は8月末日、財務省に対し、平成15年度の概算要求を提出しました。骨髄バンク関連では、概算要求の概要は左記のとおりですが、骨髄移植推進財団への補助金は今年度比73・6%増額、日本赤十字社への補助金は26・2%増額の要望をしています。また、概算要求にあわせて、患者負担の医療費控除の適用を求めるとも提出しました。これらの内容は、厳しい財政事情の中で、私たちの要望を一定程度反映したものと見えます。しかし、臓器移植対策室長も説明していますが、これが丸々認められるかどうかは未知数です。今後、12月の確定期に向け、関係者への働きかけの必要があると思われま

骨髄移植対策関係予算の概要 (骨髄移植推進財団)

平成14年度 256,957千円	平成15年度概算要求 446,183千円
あっせん業務関係事業費 (215,432千円) ・コーディネーター活動費 ・コーディネーター設置費	あっせん業務関係事業費 (250,991千円) ・コーディネーター活動費 ・コーディネーター設置費 新 専任コーディネーター設置費
あっせん事業体制整備費 (4,390千円) ・各種委員会経費 ・コーディネーター研修費	あっせん事業体制整備費 (6,223千円) ・各種委員会経費 ・コーディネーター研修費
普及啓発事業費 (31,692千円) ・パンフレット等作成費 ・ドナー時間外受付事業費 ・ドナー登録会経費	普及啓発事業費 (84,876千円) ・パンフレット等作成費 ・ドナー時間外受付事業費 ・ドナー登録会経費 新 登録希望者証作成 新 低所得者対策 (45,000千円)
運営管理費等経費 (5,448千円) ・通信費等 ・コンピュータ保守料	運営管理費等経費 (5,443千円) ・通信費等 ・コンピュータ保守料
	あっせん事業体制整備費 (98,650千円: 単年度経費) 新 コーディネート体制整備費

※平成15年度税制改正要領
骨髄移植のあっせんに係る患者負担の医療費控除の適用を要望 (所得税、個人住民税)

さい帯血移植対策関係予算の概要 (日本赤十字社)

平成14年度 928,303千円	平成15年度概算要求 628,824千円
さい帯血保存管理業務経費 (879,361千円) ・HLA検査等経費 ・採取検体輸送費 ・採取協力医療施設経費 ・フォローアップ経費 さい帯血保存数 8,156個 (平成14年度2万保存目標達成)	さい帯血保存管理業務経費 (509,946千円) さい帯血保存数 3,000個 ・使用された分の補充 (1,000個) ・細胞数の多いものへの置換 (2,000個)
さい帯血バンクネットワーク運営会議費 (8,056千円) ・各種委員会経費	さい帯血バンクネットワーク運営会議費 (7,314千円)
さい帯血情報管理経費 (40,886千円) ・ネットワーク事務局人件費・諸経費 ・ネットワーク情報管理費 ・第三者評価委託費	さい帯血情報管理経費 (51,564千円) さい帯血管理者体制の見直し (3人 非常勤 → 8人 常勤)
	さい帯血バンクネットワーク体制再構築事業費 (60,000千円: 単年度経費) ・新技術指針定着経費 ・実施体制整備費

平成15年度移植対策関係予算概算要求の概要

1. 臓器移植対策	概算要求額	(前年度予算額)
	685百万円	(546百万円)
2. 造血幹細胞移植対策	1925百万円	(1866百万円)
I. 骨髄移植対策	1298百万円	(937百万円)
(1) 骨髄移植対策事業費 (骨髄移植推進財団)	446,183千円	(256,957千円)
(2) 骨髄データバンク登録費 (日本赤十字社)	819,000千円	(648,921千円)
検査対象人員の増 (23770人→30000人)		
(3) 骨髄提供者登録受付業務費 (都道府県・政令市・特別区)	28,226千円	(28,747千円)
II. さい帯血移植対策	629百万円	(928百万円)

「献血ルーム・血液センター実態調査」 骨髄バンク登録現場の実状

その① 登録場所に表示なし

平成13年度の新規ドナー登録者24513人のうち、約46%が日本赤十字社の固定窓口、つまり血液センター・献血ルームでの登録です。集団登録説明会、献血並行型登録会の開催回数が増加傾向にあるのは確かですが、今なお日赤の固定窓口がドナー登録の中心であると言えます。しかし全国協議会としては、日赤の固定窓口での登録者数は、さらに増加させ得ると期待しています。このため、固定窓口に関する調査を実施しました。その結果に考察を交え、3回に分けて報告します。

調査は7月上旬、全国協議会スタッフとボランティアの協力を得て、各居住地周辺の固定窓口施設を対象に行いました。あらかじめ作成したチェックリスト表への書き込み形式で、基本的には非公式な訪問により行いました。調査施設数はルーム17カ所中43カ所(37%)、センター78カ所中17カ所(22%)の計60カ所(31%)で、47都道府県中23都道府県(49%)にわたりました。調査項目は7つで、派生する項目を加えると、最大10項目でした。

調査した窓口のうちドナー登録受付施設は、48カ所(80%)、ルーム30カ所・センター18カ所)で、ドナー登録を受け付ける施設であることが何らかの方法で明示されていたのは、14カ所(29%)、ルーム8・センター6)でした。献血目的で来所する市民に対し骨髄バンクやドナー登録についての案内が積極的に行われているのは60施設中7カ所(12%)、ルーム

調査した窓口のうちドナー登録を受け付ける施設であることが何らかの方法で明示されていたのは、14カ所(29%)、ルーム8・センター6)でした。献血目的で来所する市民に対し骨髄バンクやドナー登録についての案内が積極的に行われているのは60施設中7カ所(12%)、ルーム

Q1 ここではドナー登録ができる(80%) できない(20%)

Q2 ドナー登録ができることが明示されている(29%) いない(71%)

Q3 献血目的で訪れる人に、骨髄バンクやドナー登録についての案内が積極的に行われている(12%) いない(88%)

(以下、次号へ続く)

第24回理事会報告 9月8日・全国協議会事務局

- 〈協議事項〉
- 会費減免・後援等の承認について
 - 概算要求と今後の対応について
 - マイレージの利用について
 - グッズについて
 - 第2回理事選挙について
 - 未加盟地域への協力体制について
 - 議事録の記載について
 - NMDP年次総会について
 - 佐藤さち子患者支援基金規約改正について
 - CFCカード、アクニティカードについて
 - 白血病フリーダイヤル相談員学習会について
 - 加盟団体・理事からの議案書・坂口厚生労働大臣の発言に対する
- 〈報告事項〉
- 白血病フリーダイヤル相談員委嘱について
 - 献血ルームアンケート分析について
 - 12月推進月間について
 - あいかちゃんのチラシについて
 - 厚生科学審議会疾病対策部会造血幹細胞移植委員会について
 - 財団理事へのアンケート結果について
 - さい帯血ネットワーク全国大会について
- する今後の対応について
・あやちゃん展のミニセット作成について
・身分証明書(IDカード)作成について

骨髄バンクの最新情報をお知らせする — 骨髄バンクNOW

- 8月の登録会。未開催県でも行政主導で開催！
8月のドナー登録者数は1909人で、取消者数は492人、実質増加数は1417人でした。登録会は84回実施され(うち献血併行型72回)、合計1042人の方にご登録をいただきました。都道府県別の登録会開催数は、東京11回、愛知9回、北海道、福島8回、栃木、茨城5回、新潟、京都、宮城が4回、岐阜、兵庫、島根、大分が3回、福井、岡山、沖縄が2回、秋田、群馬、埼玉、大阪、広島、香川、福岡、鹿児島がそれぞれ1回開催されました。
- 12月の推進月間、全国一斉登録会の開催をお願いします
今年も12月に「全国一斉ドナー登録会」を実施します。骨髄バンク推進月間の行事のひとつとして、1カ月間で全国一斉にドナー登録会を開催するというものです。なお、本年度は全国大会の開催は予定されておりません。
- 緊急コーディネートが制度化されました
7月に「緊急コーディネート」を2例開始し、これを機に今後の「緊急コーディネート」の実施ガイドラインを策定しました。
- 日本骨髄バンクの現状 (2002年8月末現在)

	8月	現在数	累計数
ドナー登録者数	1,909	157,649	195,996
患者登録者数	153	1,875	13,051
骨髄移植例数	63	-	4,338

注) 数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。

骨髄バンクボランティアダイヤル
フリーダイヤル
0120-892-106

心からのご寄付を ありがとうございました

8月27日～9月23日

切明隊	現金 5,000円
児島鷺羽ライオンズクラブ	現金 300,000円
キノシタナオタカ	現金 10,000円
鈴木純子	現金 1,340円
ブリヂストンスポーツ株式会社	現金 418,800円
浅井みえ子	現金 1,000円
鈴木亜弥	現金 10,000円
東宝チェックカーズ	現金 17,180円
坂田浩章	現金 40,000円
株式会社タクトコーポレーション	現金 30,000円
ヤマダヤスヒロ	現金 9,475円
玉野ライオンズクラブ・児島鷺羽ライオンズクラブ	
瀬崎ライオンズクラブ・倉敷瀬戸ライオンズクラブ	現金 31,680円

●佐藤さち子患者支援基金

切明隊	現金 5,000円
匿名	現金 5,000円

●白血病患者支援基金・募金箱

うま久御苑店	現金 1,173円
曾根建株式会社	現金 8,271円
青葉台クリニック	現金 4,883円
磯屋食堂	現金 1,543円
すけろく上福岡店	現金 8,999円
鎌倉屋	現金 3,402円
樹林治療院	現金 1,000円
グリーン薬局	現金 4,896円
元気いちばん亭勝山店	現金 2,733円
弘陽薬品株式会社	現金 6,262円
(有)天山	現金 24,395円
フジ北条店	現金 2,447円
匿名	現金 11,554円
(株)クスリのアオキこばとの会	現金 50,537円

(敬称略)

活動資金の援助をお願いします

銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655
郵便振替口座
00150-4-15754
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク推進連絡協議会

9月2日から5日まで「第3回何もしないより元気ウォーク」を実施しました。骨髄バンクの旗を持ち新潟市から湯沢町までの150キロを歩いて骨髄バンクの存在を沿道や車を運転中の市民にPRしました。

また、県知事及び通過する11市町村役場に立ち寄り、市町村長等へ骨髄バンクへの協力を訴えるメッセージを手渡ししました。

参加者は、患者・医療従事者・行政職員など、延べ100人以上になりました。長岡では同級生が白血病になり、協力したいと専門学生31人が一緒に歩いてくれました。

各役場でも直接幹部に現状を



9月17日は雨が降ったりやんだりの日でしたが、ジャスコ清水でイエローレシートの還元というところで、21インチのテレビデオ&テレビ台をいただきました。足りないところは会の方で

9月8日、函館市民体育館で、『全北海道空手道選手権大会』が開催されました。『骨髄バンクチャリティーオーブントーナメント』と謳っているものです。

数年前、「ゴーマンナサイ、ゴーマンナサイ」と、出前スタイルでテレビのコマーシャルに出ていた元K1王者アンディ・フグさんは、2000年8月24日に、急性白血病の為に、その生涯を終えました。鉄人と呼ばれた屈強の男でさえも、白血病には勝てませんでした。

空手道連盟「極真会館」では、彼の遺志を継いで、骨髄バンクを応援しています。開会式のセレモニーで、骨髄バンクチャリティー基金の贈呈式が行なわれ、寄付金を頂戴しました。

前日に若い人から、「極真会

その礼儀正しさには「きちんと指導されている武道家は違う」とただ感心させられました。そして、これが一人でも多くのドナー登録へ結びつく事を期待しています。(近藤)

9月17日は雨が降ったりやんだりの日でしたが、ジャスコ清水でイエローレシートの還元というところで、21インチのテレビデオ&テレビ台をいただきました。足りないところは会の方で

9月8日、函館市民体育館で、『全北海道空手道選手権大会』が開催されました。『骨髄バンクチャリティーオーブントーナメント』と謳っているものです。

数年前、「ゴーマンナサイ、ゴーマンナサイ」と、出前スタイルでテレビのコマーシャルに出ていた元K1王者アンディ・フグさんは、2000年8月24日に、急性白血病の為に、その生涯を終えました。鉄人と呼ばれた屈強の男でさえも、白血病には勝てませんでした。

空手道連盟「極真会館」では、彼の遺志を継いで、骨髄バンクを応援しています。開会式のセレモニーで、骨髄バンクチャリティー基金の贈呈式が行なわれ、寄付金を頂戴しました。

前日に若い人から、「極真会

きみと奈良骨髄バンクの念は、去る9月8日第7回極真カラテ大仏杯選手権の会場で骨髄バンク啓発活動を実施しました。極真会館奈良支部のご好意により、たくさんの方々が参加し、中「命のあさがお」ビデオ上映とパネル展示を行い、骨髄バンクへの協力を訴えました。試合を控えた選手や済んだばかりの選手は殺気立った表情ながら、かわいキティーちゃんのティッシュなどを「ありがとう」といつて受け取ってくれました。街中での啓発活動の時に比べ、

9月17日は雨が降ったりやんだりの日でしたが、ジャスコ清水でイエローレシートの還元というところで、21インチのテレビデオ&テレビ台をいただきました。足りないところは会の方で

9月8日、函館市民体育館で、『全北海道空手道選手権大会』が開催されました。『骨髄バンクチャリティーオーブントーナメント』と謳っているものです。

数年前、「ゴーマンナサイ、ゴーマンナサイ」と、出前スタイルでテレビのコマーシャルに出ていた元K1王者アンディ・フグさんは、2000年8月24日に、急性白血病の為に、その生涯を終えました。鉄人と呼ばれた屈強の男でさえも、白血病には勝てませんでした。

空手道連盟「極真会館」では、彼の遺志を継いで、骨髄バンクを応援しています。開会式のセレモニーで、骨髄バンクチャリティー基金の贈呈式が行なわれ、寄付金を頂戴しました。

前日に若い人から、「極真会

目の中に入れても痛くない程可愛がってられるお父さんは、健康を回復してからも心配で、ずっと一緒にいられる運転代行(都会の方は御存じない?)をしていま

客さんや同業者にもファンは多いのです。が、いろんなイベント会場で顔を合わせ

大岡芸のお兄さんやお客

目の中に入れても痛くない程可愛がってられるお父さんは、健康を回復してからも心配で、ずっと一緒にいられる運転代行(都会の方は御存じない?)をしていま

客さんや同業者にもファンは多いのです。が、いろんなイベント会場で顔を合わせ

大岡芸のお兄さんやお客

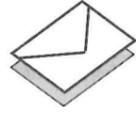


目の中に入れても痛くない程可愛がってられるお父さんは、健康を回復してからも心配で、ずっと一緒にいられる運転代行(都会の方は御存じない?)をしていま

客さんや同業者にもファンは多いのです。が、いろんなイベント会場で顔を合わせ

大岡芸のお兄さんやお客

各地の 各地のたより



各地のたよりを
写真を添えて
お寄せください。

9月2日から5日まで「第3回何もしないより元気ウォーク」を実施しました。骨髄バンクの旗を持ち新潟市から湯沢町までの150キロを歩いて骨髄バンクの存在を沿道や車を運転中の市民にPRしました。

また、県知事及び通過する11市町村役場に立ち寄り、市町村長等へ骨髄バンクへの協力を訴えるメッセージを手渡ししました。

参加者は、患者・医療従事者・行政職員など、延べ100人以上になりました。長岡では同級生が白血病になり、協力したいと専門学生31人が一緒に歩いてくれました。

各役場でも直接幹部に現状を

9月2日から5日まで「第3回何もしないより元気ウォーク」を実施しました。骨髄バンクの旗を持ち新潟市から湯沢町までの150キロを歩いて骨髄バンクの存在を沿道や車を運転中の市民にPRしました。

また、県知事及び通過する11市町村役場に立ち寄り、市町村長等へ骨髄バンクへの協力を訴えるメッセージを手渡ししました。

参加者は、患者・医療従事者・行政職員など、延べ100人以上になりました。長岡では同級生が白血病になり、協力したいと専門学生31人が一緒に歩いてくれました。

各役場でも直接幹部に現状を